

映画「恐竜の詩」の製作を全面支援

丹波・ムービー・サポート (TMS)



映画製作を成功させる
キーワードは「丹波愛」

3月24日に完成披露式典を行った、丹波市を舞台にした映画「恐竜の詩」の製作をサポートするため、活動してきた市民団体です。資金集めから協力者募集、ロケセットづくりまで、あらゆるサポートをされてきました。代表の河口さんに約1年間の活動を振り返ってもらいました。(上部写真中央)



ふってわいた映画の話

バスデイというイベントの打ち合わせ中、相談したいことがあると、突然持ち込まれたのが、映画「恐竜の詩」の話でした。

丹波市を舞台にした映画を撮ろうと近兼拓史監督が撮影を始めていくが、撮影を支援する団体がなく、困っているという内容でした。監督と丹波市出身の新人女優の武田丹音さんに出会って、サポートしようと思ったのが昨年5月2日のことでした。

情報発信からセットづくりまで

丹波・ムービー・サポート (TMS) を立ち上げてからは、すぐに速度で物事が進んでいきました。

まずは、情報発信のためにホームページやフェイスブック・ツイッターを開設。次に映画の製作資金と協力者を集めるため、100万円を募る「クラウドファンディング」を企画。近兼監督の前々作の「たこやきの詩」の上映イベントも行いました。ここまでの準備期間、約10日。6月17日、映画の製作発表の場でTMSお披露目。監督や協力者たちと連日セットをつくって、7月11日には撮影スタジオの内覧

会。メンバーたちは本当によくやってくれたと思います。

真夏の大规模ロケをサポート

7月・8月は、市内のあちこちで大規模ロケが行われ、支援に飛び回りました。丹波竜化石工房「ちーたんの館」と元気村かみくげ、やまなみホールに柏原高校、愛宕祭。真夏のロケで子役さんや女優さんたちの体調を心配しましたが、無事終了しました。300人を超えるエキストラさんの協力もあり、撮影を盛り上げられて本当にうれしかったですね。

東京・大阪など全国公開へ

先月、ついに映画が完成し、完成披露式典と地元先行プレミアム上映会が行われました。イベント後、みなさんを見送ったときは、高揚感と達成感に包まれ、本当に幸せでした。

丹波市の魅力が詰まった映画がいよいよ全国で公開されます。5月12日から大阪市十三のシアターセブンで、6月には東京で上映が決定。順次全国で公開予定です。たくさんの方に観てもらえるよう、宣伝をよろしく願います。